

“日清食品カップ”第38回全国小学生陸上競技交流大会 開催および感染予防対策について

1. 競技会開催について

(1) 開催に際して

- (ア)本連盟は「陸上競技活動再開のガイダンス」に沿って、感染防止に最大限の注意を払い、コロナ禍での競技会およびその他活動を行っています。本競技会においても、できる限り感染リスクを軽減させた上で競技会運営を行います。
- (イ)政府の方針、各々の地域の感染状況や行政判断が優先されます。政府、神奈川県、横浜市の指示、要請、命令に従って、本連盟が開催の判断を行います。
- (ウ)移動（飛行機、新幹線）においては、各交通機関の定める「新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応」を遵守します。また、各選手団が児童の集団であるという特性上、文部科学省の定める「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」や一般社団法人日本旅行業協会が作成した「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き」等を参考に計画・行動します。
- (エ)安全な大会運営を目指すために、昨今の感染状況を鑑み、本大会において、選手団および大会関係者については、大会1週間前（8月12日）から大会2週間後（9月3日）までの体調管理および検温を義務付けます。
- (オ)選手団、関係者を含むすべての入場者に対してPCR検査の実施（後述）による、安全確保のためのスクリーニングを行います。
- (カ)競技会当日に限り、感染症予防対策を講じた上で観客動員をします。ただし、社会状況によっては中止をする場合があります。観客については、事前の入場者登録を必須とし、選手団および関係者同様に大会1週間前（8月12日）から大会2週間後（9月3日）までの体調管理および検温とPCR検査の実施(後述)を義務付けます。
- (キ)感染症対策を講じると同時に開催時期を考慮し、熱中症予防の観点から運動時以外でも感染リスクが低い場面では、マスクを外すことを推奨します。

(2) 競技会の運営とプログラムの再開に関して

(ア) 本競技会は、感染症対策を行い、従来実施していた大会運営の形に近づけます。

※ 開会式は、熱中症予防の観点から選手団は観客席に着席して行います（入場行進は行わない）。

※ フレンドシップパーティー、安藤百福記念章表彰授与式、販売ブース等を実施します。

(イ) 監督会議は、オンライン会議で下記の通り実施します。

● 開催日時：8月15日（月） 17：00～

● 会議形態：オンライン会議 ※Zoomを使用する

● 出席者：各選手団の監督・コーチ 3人まで

（※3人に満たない場合は支援コーチも可）

(ウ) 指導者研修会は、競技会前日（8月19日）に日産スタジアムで実施予定です。

(エ) 有観客での開催を予定します。

※ 観客の入場は競技会当日のみとし、競技会前日は入場不可とします。前日(前日練習)は選手団(選手・監督・コーチ・支援コーチ)のみ入場が可能です。

※ 観客（入場希望者）は、8月12日までに入場者登録を行い、選手団および関係者同様に大会1週間前（8月12日）から大会2週間後（9月3日）までの体調管理および検温を義務付けます。

※ 事前登録を行っていない方、PCR検査の実施による陰性を確認できない方の入場はできません。

※ 入場時に、上記登録および大会指定の体調管理チェックシートの確認、検温、消毒を行います。

※ 開催にあたり、開催地である神奈川県が定める感染症対策チェックリストの作成と公開、入場者の連絡先等の把握などで不測の事態にも対応しうる準備をします。

※ 今後の社会状況により、無観客または入場制限の設定、上記内容の変更を行う場合があります。

2. 感染予防対策について

(1) PCR検査の実施と体調確認について

① PCR検査の実施

(ア)本競技会では、日頃一緒に生活しない人が集まって移動、集団行動をすることと、都道府県をまたいで移動すること、また、終了後（帰宅後）の生活も考慮し、安全性確保のために、すべての入場者を対象に、競技会前のPCR検査を実施します。

(イ)PCR検査の対象と手配および費用負担について

[主催者手配、主催者費用負担]

- 1) 選手団（選手、監督・コーチ）
- 2) 小学生リポーター(小学生リポーター、同伴者)
- 3) 安藤百福記念章受章者
- 4) 神奈川陸上競技協会（審判、役員）、補助員
- 5) 主催者（本連盟）、協賛社（日清食品ホールディングスおよび安藤財団）
- 6) 来賓（スポーツ庁、横浜市等）、ゲスト
- 7) 運営スタッフ、カップヌードルミュージアム 横浜スタッフ、出店ブーススタッフ
- 8) オフィシャルカメラ、NHK

※ 検体採取後の検査キット返送費用は、受検者をご負担ください。また、検査結果に対応するための費用が発生した場合（医師手配、消毒等）は、自己負担をお願いします。

※ 選手団および関係者（主催者手配）のPCR検査キットは、連絡窓口担当者に一括送付いたします。

[各自受検、自己負担]

- 1) 支援コーチ
- 2) 報道
- 3) 観客（事前に来場者登録をしている方に限る）

※ 各自で検査を実施してください。

※ 検査にかかる費用は自己負担してください。

(ウ)検査（検体採取）は、大会1日目（8月19日）の72時間前である「8月16日」に行います（各自受検の場合も8月16日に検査（検体採取）をお願いします）。

② 体調確認

(ア) 選手団および関係者には大会1週間前（8月12日）からの体調管理および検温を行っていただき、来場時に大会指定の体調管理チェックシートを提出することとします。また、大会2週間後（9月3日）までは体調管理を義務づけます。

(イ) 観客に関しては、入場者情報の登録と大会1週間前（8月12日）からの体調管理および検温を行い、入場時に体調チェックシートの記入確認を行います。また、大会2週間後（9月3日）までの体調管理を義務づけます。

※ PCR検査の実施については上記①の通りとし、陰性を確認後、大会指定の体調管理チェックシートと共に陰性であることを証明するメール、ウェブページ、書類などを入場時に提示できるようご準備ください。

(2) 大会参加について

(ア) 下記参加条件を確認のうえ、大会に参加してください。

① 選手団の行動について

選手団は、次の行程で大会に参加してください。

[8月19日（金）]

- ・ 会場に集合して、選手団受付、カップヌードルミュージアム 横浜見学、前日練習、選手団写真撮影、指導者研修会（指導者のみ）を行います。前日練習の内容については各選手団に一任します。
- ・ 指定宿舎（新横浜プリンスホテル、新横浜フジビューホテル）に宿泊し、ガイドンスおよびしおりに記載の注意事項を守って行動してください。

[8月20日（土）]

- ・ 開会式、競技会、フレンドシップパーティーに参加してください。

※ 開会式は、選手団による入場行進を行わず、選手団はメインスタンド指定エリアでの着座集合とします。熱中症予防の観点から、帽子着用の上、水分補給用の飲料を持参し、距離をあけて着席します。マスクは状況に応じて、着用または外して参加します。

※ 開会式は、友好レース100m（男女）、5年100m（男女）、6年100m（男女）、男子コンバインドBの7名（友好100mの参加者がいない場合は5名または6名）、および選手のウォーミングアップに関わらない指導者（2名以上）が参加してください。

※ フレンドシップパーティーは、参加選手全員がトラックに密にならないように集合して行きます。指導者(監督・コーチ)は、選手を集合エリア付近まで誘導し、エリア外で待機、見学してください。

[8月21日(日)]

・ 解散、帰宅日とします。

※ 定められた経路・交通手段で選手団ごとに解散します。

② 選手団その他関係者(会場入場者)の参加について

A: 選手団(選手、監督・コーチ)

1) 指定日(8月16日)にPCR検査を行い、陰性であること。

※ PCR検査は選手団事務局(検査キットの手配:近畿日本ツーリスト)が実施する。

2) PCR検査を実施していない、または拒否した場合は参加できません。

3) 大会1週間前(8月12日)から体温および体調を確認のうえ、別途添付する【大会前】新型コロナウイルス感染症についての大会指定の体調管理チェックシート(以下、体調管理チェックシート)に記入してください。該当項目がある場合にはその理由如何では参加できません。

4) 同居する家族、所属クラブ、学校(クラス)に大会前7日以内に感染者が確認され、濃厚接触の可能性(疑い)がある場合は、保健所からの濃厚接触者に関する回答によって判断します。

(ア) 濃厚接触者と指定された場合は、参加できません。

(イ) 濃厚接触者と指定されなかった場合は、参加可能になります。

(ウ) 濃厚接触者に関する回答(連絡)が競技会開催日までになかった場合は、参加できません。

5) 開催期間中は、毎朝、体温および体調チェックを行い、別途配布する体調確認用のシートに記載して提出してください。

6) 会場入口で検温を行い、目印(前日:リストバンド、当日:シール)を付けて頂きます。

7) 移動および競技会中で密を避けられないまたは会話をする際は、マスクを着用してください。前日練習、ウォーミングアップ、競技中の選手および密な状況でない場合は、熱中症予防の観点でマスクを着用する必要はありません。ただし、密を避けられない場合、会話をする際には、必ずマスクを着用してください。

- 8) 移動は、選手団事務局が手配した移動手段を使用してください。
- 9) ホテルのチェックイン後は、外出禁止です。
- 10) 競技会会場への移動中に、発熱その他の体調不良が認められた場合は、直ちに帰宅し、医療機関で受診してください。選手は、引率者（監督・コーチ、支援コーチ、選手団関係者）または保護者と帰宅してください。
- 11) 会場到着後および競技会中に、発熱その他の体調不良が認められた場合は、看護師による確認後、帰宅して医療機関で受診してください。選手は、引率者（監督・コーチ、支援コーチ、選手団関係者）または保護者と帰宅してください。
- 12) 開催中の帰宅については、各選手団で対応してください。ただし、交通手配等について、選手団事務局がサポートします。
- 13) 体調不良者は、帰宅（移動）までの間、競技場、ホテルにおいてそれぞれ他の参加者と隔離します（主催者は隔離用の部屋を用意します）。
- 14) 開催中の帰宅において生じる費用（交通費等）および延泊となる場合の費用（宿泊費等）については、選手団または自己負担とし、主催者は負担しません。
- 15) 大会終了後、2週間（9月3日まで）の体温および体調チェックを行い、別途添付する【大会後／個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（以下チェックシート）に記入してください。新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合は、検査をすることを推奨します。また、感染が発覚した場合は速やかに主催者に報告してください。

B：小学生リポーターおよび同伴者

- 1) A：選手団に準じます（前日、ウォーミングアップ、競技中については行動が異なるため、別途行動にあわせて行います）。

C：審判、役員、補助員、来賓、ゲスト、安藤百福記念章受章者、

運営スタッフ（競技会、カップヌードルミュージアム 横浜、出店ブーススタッフ）、オフィシャルカメラ、NHK

- 1) 指定日(8月16日)にPCR検査を行い、陰性であること。

※ PCR検査は選手団事務局（検査キットの手配：近畿日本ツーリスト）が実施する。

- 2) PCR検査を実施していない、または拒否した場合は入場できません。

- 3) 大会1週間前（8月12日）から体温および体調を確認のうえ、別途添付する体調管理チェックシートに記入してください。1つでも該当した場合には参加できません。
- 4) 同居する家族、所属クラブ、学校（クラス）に大会前1週間以内に感染者が確認され、濃厚接触の可能性（疑い）がある場合は、保健所からの濃厚接触者に関する回答によって判断します。
 - (ア) 濃厚接触者と指定された場合は、参加できません。
 - (イ) 濃厚接触者と指定されなかった場合は、参加可能になります。
 - (ウ) 濃厚接触者に関する回答（連絡）が競技会開催日までになかった場合は、参加できません。
- 5) 会場入口で検温を行い、目印（前日：リストバンド、当日：シール）を付けて頂きます。
- 6) 移動、および競技会中は、マスクを着用してください。
- 7) 競技会会場への移動中に、発熱その他の体調不良が認められた場合は、直ちに帰宅し、医療機関で受診してください。
- 8) 大会終了後、2週間（9月3日まで）の体温および体調チェックを行い、チェックシートに記入してください。体調不良は、速やかに主催者に報告してください。

D：報道

- 1) 別途配布する「大会取材要項」をご確認ください。
- 2) 指定日(8月16日)以降にPCR検査（自己受検、費用自己負担）を行い、陰性であること。
- 3) PCR検査を実施していない、または拒否した場合は入場できません。

※ 受付時に体調管理チェックシートと共に陰性であることを証明するメール、ウェブページ、書類などを入場時にご提示できるようご準備ください。
- 4) 報道者席はフィジカルディスタンスを保つよう、座席制限を行います。
- 5) その他については、上記“審判、役員、補助員、来賓、運営スタッフ等”と同様です。

E：観客

- 1) 事前の入場者登録を行い、大会1週間前（8月12日）からの検温および体調確認、体調チェックシートへの記入を行うこと。
※ 入場者登録の方法については、決定次第お知らせします。
- 2) 指定日(8月16日)にPCR検査（自己受検、費用自己負担）を行い、陰性であること。
- 3) 指定日(8月16日)にPCR検査を受検していない、または拒否した場合は入場できません。
※ 受付時に体調管理チェックシートと共に陰性であることを証明するメール、ウェブページ、書類などを入場時にご提示できるようご準備ください。
- 4) 小学生以上はPCR検査を行ってください。
- 5) 未就学児はPCR検査の実施を問いません。事前の入場者登録を行い、会場内では保護者と離れないよう、保護者が管理してください。
- 6) 競技会前日（8月19日）は、入場できません。
- 7) 競技会当日（8月20日）は、事前に主催者が定める入場者登録を行い、大会1週間前（8月12日）からの検温および体調確認、体調管理チェックシートへの記入がされている方が入場できます入場者登録がない入場希望者については、入場できません。
- 8) 受付で、登録状況の確認、検温および体調管理チェックシートの記載事項を確認後、目印（リストバンド）を付けて頂きます。
- 9) 観客席のみ入場可能です。
- 10) 移動および競技会中は、マスクを着用してください。
- 11) 大会会場への移動中または会場内で、発熱その他の体調不良が認められた場合は、直ちに帰宅し、医療機関で受診してください。
- 12) 大会終了後、2週間（9月3日まで）の体温および体調チェックを行い、体調不良等の際は、速やかに主催者に報告してください。
- 13) 入場を許可されていない人（入場者目印をつけていない人）の、競技場および周辺への来場、待機等をご遠慮ください。選手団との接触も避けてください。競技場および周辺で、立ち止まったり滞留している場合、警備員またはスタッフがお声掛けし、移動をしていただく場合があります。

③ 大会参加の判断について

- 1) 選手団は、上記①、②および次項の感染予防対策を確認のうえ、大会に参加してください。
- 2) 選手団のメンバーに変更が生じる場合は速やかに選手団事務局まで連絡してください。なお、選手、監督・コーチとも、メンバー変更については、本大会の申込み要項通りとし、所定の変更届を提出してください。
- 3) 参加の辞退、選手団全員の不参加、または一部選手の不参加等は、選手団事務局へ申し出てください。

(3) 会場での感染予防対策

① 入場者管理

- 1) 日産スタジアムの入場場所は下記とし、すべての入場者の検温、体調確認を行い、目印（リストバンド、シール）を付けて頂きます。その他詳細は上記の通り。

選手団、観客（選手団関係者）：西ゲート

審判、役員、補助員：審判・補助員入口（関係者入口3）

報道：報道専用受付（関係者入口3）

来賓、運営スタッフ：正面玄関

小学生リポーター(同伴者含む)：正面玄関

安藤百福記念章受章者：西ゲート

② 消毒

- 1) 競技場各所（すべての入口、その他各所）に手指の消毒剤、手洗い場に液体石鹸および消毒剤を設置します。

※ ホテル、カップヌードルミュージアム 横浜においては各施設が行う感染症対策に従って実施されています。

- 2) 携帯用消毒剤を選手団全員に配布します。

③ マスク着用

- 1) ウォーミングアップおよび競技中の選手を除いて、すべての入場者はマスクを着用してください。※熱中症予防の観点から、状況に応じ、マスクを外していただきます。
- 2) 各自十分な数のマスクを準備してください。

- 3)トラック種目は、フィニッシュ後、他の選手と間隔を空けてスタート位置に戻り、各自のマスクを着用する。但し、インタビュー等で主催者がマスク着用を必要だと判断する場合にはマスクを配布します。
 - 4) 招集所、フィールド種目、その他各所に、主催者が予備のマスクを準備します。
- ④ コンコース、観客席、招集所のフィジカルディスタンス確保
- 1) コンコース（選手団待機エリア）：十分なディスタンスを確保します。
 - 2) 観客席：席をあけて使用するよう呼びかけをおこないます。
 - 3) 招集所：種目で分散させて（100m、4×100mリレーはマラソングート、コンバインドは屋内走路）、密を回避します。なお、屋内走路の窓は、開放して換気を行います。
- ⑤ 更衣室・洗面所（トイレ）
- 1) 更衣室は広さにゆとりのある部屋を準備します。
 - 2) 更衣を行う選手以外は入室しないでください。
 - 3) 更衣室では更衣のみ行うものとして、短時間で退室するように指導してください。
※ 随時スタッフが、室内の状況を確認して、密になる場合には入場制限等を行います。
 - 4) マスクを着用してください。会話は極力抑えてください。食事はできません。
 - 5) 換気扇を常に回して、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮します。
 - 6) 入退室の前後に手洗い、消毒を行ってください。
 - 7) 厚生労働省発行の感染症対策チラシ「手洗い」等の掲示をします。
 - 8) 入場者は手洗い後に手を拭くためにタオルを持参ください。
- ⑥ 給水
- 1) ペットボトル（550mlの水／サントリー天然水）を選手団に1日1ケース／24本入りを配布（1人1日1本ずつ配布可能）します。ウォーターサーバーでの給水は行いません。
 - 2) 招集所、補助競技場に予備のペットボトル（同）を設置し、役員および運営スタッフが管理します。

⑦ 飲食

- 1) 指定場所での飲食とし、十分な広さをとり、常に換気を行います。
 - 2) 飲食場所には、必要に応じ、アクリル板を設置します。
 - 3) 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行ってください。また、飲料、食べ物、容器等の共有をしないでください。
 - 4) 周囲の人と距離をとって、対面を避け、黙食、孤食とし、咳エチケットを徹底してください。
 - 5) 会話をする時は、マスクを着用してください。
 - 6) 飲みきれなかった水等（ペットボトル含め）を、指定場所以外に捨てないでください。
 - 7) 監視スタッフを配置し、上記が守られるよう、管理します。
 - 8) 選手団が宿泊するホテル（新横浜プリンスホテル、新横浜フジビュー）内での食事は次の通りとします。
 - ・ 必要に応じ、アクリル板を配置します。
 - ・ 食事会場を最大限に広げ、距離を取ってください。
 - ・ 黙食を徹底してください。
 - ・ 食事後に行う各選手団のミーティングは、時間を制限して実施してください。
 - ・ 食事会場（飲食時を除く）、移動中、ミーティング中、部屋の中、すべてにおいてマスクを着用してください。
- ※ 選手団以外が宿泊するホテルについては、各ホテルが実施する感染症対策に従います。

⑧ 清掃、消毒、ゴミの廃棄

- 1) 競技場、ホテル、カップヌードルミュージアム 横浜とも、清掃、消毒、ゴミの回収は、各施設の清掃責任者および担当者が清掃にあたります。

⑨ 競技中の注意事項は「陸上競技活動再開のガイダンス 競技会開催について」に従って行います。

※ 応援は、声出しをせず、拍手での応援とします。

⑩ カップヌードルミュージアム 横浜見学における感染防止に関しては後項で詳述します。

(4) 責任者および医療体制

① 新型コロナウイルス感染防止責任者

競技会全体：日本陸上競技連盟（事務局長） 鈴木英穂

選手団事務局：近畿日本ツーリスト株式会社（支店長） 猪脇寿夫

カップヌードルミュージアム 横浜：安藤スポーツ・食文化振興財団（事務局長）

兼 カップヌードルミュージアム（館長） 清藤勝彦

※ 各選手団においては、監督が責任者です。

② 医療体制

1) 競技会：医師および看護師（神奈川陸上競技協会）

2) ホテル：看護師（選手団事務局）

3) 医療機関との連携：横浜労災病院（後方協力依頼済）

※ コロナ感染の疑い(発熱等)があった場合は、帰宅後、病院で受診をしてください。

※ 現地で対応が必要な場合は下記を案内します。

横浜市 相談コールセンター（症状がある方に受診可能な医療機関を紹介）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/kansensho/ncov-soudan.html>

◆カップヌードルミュージアム 横浜見学における感染予防対策について

① カップヌードルミュージアム 横浜（以下ミュージアム）への移動

1) 貸切バスは、次の通り運行します。

15県 羽田空港→ミュージアム→日産スタジアム

8県 ホテル →ミュージアム→日産スタジアム

24県 日産スタジアム→ミュージアム→ホテル

+小学生リポーターグループ(8名)

2) 貸切バス1台（正座席45）に2県乗車（36名）。

3) 移動中に、関係者以外の人との接触はありません。

4) ミュージアム駐車スペースでは、バス回送先駐車場から呼び出します。待機中は、フィジカルディスタンスの確保、マスク着用、会話をしない等、スタッフが管理を徹底します。

② ミュージアム見学内容

1) 到着後、検温をして、1Fロビーからミュージアムスタッフの誘導で、階段およびエスカレーターを使用し都道府県ごとに移動、都道府県ごとに次の通り見学します。

2F展示フロア見学 40分、

3Fチキンラーメンファクトリーデモ見学 10分、

3Fマイカップヌードルファクトリー体験 30分

全 1時間10分

※ 各プログラムとも通常より短縮して実施します。

※ 見学、体験中の飲食は禁止します（※熱中症予防のための水分摂取は除く）。

③ ミュージアム内の感染予防対策

1) ミュージアムは、小学生陸上選手団の「貸し切り」利用で運営し、館内が密集した状況をさけるべく、選手団ごとに時間をずらし、分散して見学を行います。

2) 入館時に全員、手指消毒および検温を行います。

3) 各見学エリアにおいて、手指消毒を行います。

4) ミュージアム内は各エリアとも十分な換気能力です。

5) ミュージアムスタッフは、事前にPCR検査を実施し陰性確認をしています。

6) スタッフと選手団の距離、選手団内の距離を保ち、見学を行います。

7) 選手団が触れる（手に取る）もの 及びその対応について

- ・ マイカップヌードルファクトリーの体験時、オリジナルのカップ、油性ペン、反転マシンのハンドル、エアパッケージ、エアパッケージ用の赤紐、空気入れポンプ

→参加者全員、体験前(カップ受け取り前)に必ず手指のアルコール消毒を行います。

→油性ペンはアルコール消毒したものを使用します。

→空気入れのポンプは各自で手指を消毒した上で使用します。

- ・ オリジナルのカップヌードルを、エアパッケージに入れて各自持ち帰りいただきます。

8) 見学および移動中は、マスク着用、立ち止まる際には距離を保つ、会話をしないことを徹底します。各選手団それぞれにスタッフがついて管理します。

※ 見学、体験中の飲食は禁止します（※熱中症予防のための水分摂取は除く）。

9) 選手団のうち、19県がミュージアム内で昼食をとります。

- ・ 昼食は、各自持参または事前注文した弁当を食べていただきます。
- ・ 昼食は、見学エリアとは別の場所[5階ホールのほか、4階NOODLES BAZAAR - ワールド麺ロード-を検討]で食べていただきます。
- ・ 入室前に手洗い、消毒を徹底します。十分な広さを確保して、同方向を向いて、距離をあけて着席します。
- ・ 選手団が入れ替わる際に、各自でテーブル、椅子の消毒を行います。

10) その他、施設内における、消毒、換気、その他感染予防対策については、別紙「日清食品カップ”第38回全国小学生陸上競技交流大会 開催および感染予防対策について」内に記載の内容に準じて行います。

<参考>

カップヌードルミュージアム 横浜 HP

<https://www.cupnoodles-museum.jp/ja/yokohama/>

以上